

データ駆動型農業の実践・展開支援（データ駆動型農業の実践体制づくり支援）に関する事業評価票

事業実施者名	事業実施 年度	成果目標の内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			基準年 （事業実施前年度） 年度	目標年 5 年度	目標値	達成度合		
北海道次世代施設園芸地域展開コンソーシアム	平成30年度 ～ 令和2 年度	北海道全域を対象範囲として、高度環境制御技術及び雇用労働力を活用した面積の増	16.42ha （事業実施前年度） 平成28年度	32.84ha	26.53ha	61.57%	次世代施設園芸拠点等で得られた成果の普及に向け、地域の農業者等を対象とした現地視察や栽培技術講習会を行ったほか、道外を含めて広く新たな実践者の確保に努めるため、フォーラムやイベントでのPR活動を行い、併せて関係者による検討会議において取組の進捗管理や事業成果の共有等に取り組んだ。また、生産技術の導入や施設園芸の導入に関するマニュアルの普及等に取り組んだ。	新型コロナウイルス感染防止のため、一部事業に支障が生じたものの、概ね計画に即した取組が行われた点については、評価できる。しかし、経営不振等により廃業等となる法人があったこと、人手不足や燃料価格等の高騰を背景に新規参入が進まなかったことが原因で、成果目標は達成できなかった。今後はコスト削減に資する技術検証を行い、検証結果を広く発信するなど成果目標の達成に向けて取組を実施されたい。